

記録：第 361 回海外邦人安全対策連絡協議会

8月8日、「第361回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は邦人にかかわる被害の状況、など。

1. 冒頭

(大使館領事部長)

本日総括公使が不在のため代わりに私より以下情報共有させていただく。来月9月の4日(月)から7日(木)までの間、ジャカルタにおいてASEAN関連首脳会議が開催される予定になっている。この首脳会議期間中はジャカルタ市内では大規模な交通規制そして渋滞などが予想される。予定を組まれる場合は余裕をもって計画するようご注意ください。

2. 医療関連状況について

大使館医務官欠席。特段の報告事項なし。

3. 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(大使館警備班書記官)

7月に発生した邦人被害について2件報告する。

まずは、7月中旬に発生したひったくり事件である。観光目的でジャカルタを訪れていた邦人2名が夜9時ごろスナヤン地区の道路を歩いて横断したところ、所持していたバッグをバイクに乗った犯人にひったくられたという事件である。不幸中の幸いで身体的な被害はなかった。道路を歩く際にはスマホやバック等の所持品に気をつけていただくよう、また外出時には周囲に十分注意を払うようお願いしたい。

2件目は、出会い系アプリに関連した被害である。最近同様に事件が頻繁に発生しており少し詳しく説明させていただきたい。観光でジャカルタに来た邦人男性が出会い系のアプリで知り合ったインドネシア人女性をホテルに招いたところ、本人とその友人が2人でやってきた。友人が買い物に行くと言って外出した1時間後、突然警察官と思われる6名が部屋に入ってきて部屋の捜索が始まった。一緒にいたインドネシア人女性が所持していたタバコにマリファナが入っているということで、邦人男性も警察と思われる施設に連行された。事情聴取の際、日本大使館に連絡をさせてもらえず、示談交渉のため弁護士を紹介され多額の解決金を支払い解放されたという事件である。なお、幸い銀行送金がうまくいかなかったため、支払いは実行されなかった。

今回結果として金銭の支払いは発生していないものの、このような美人局系の被害が以前から相次いでいるので再度注意喚起させていただく。こうした被害については大使館に報告されていない案件も数多くあると推測される。在留邦人の皆様は引き続き十分注意いただくとともに、出張や観光でインドネシアに来られる周囲の方にも注意喚起情報としてお伝えいただきたい。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。(最近空港における入国トラブル等の事例はあるかという質問に答えて) インドネシア入国における入管、検疫等でのトラブル事例は特に聞いていない

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

安全、入国管理に関連する報告事項はなし。

東部工業団地では、引き続き毎日のようにデモが発生している。デモについてはオムニバス法に対する反対や各企業の労働問題に関するデモが多い。近づかないようにご

注意願いたい。デモによる交通渋滞も発生しているのでアプリの交通情報も参考にして対応いただきたい。

(企業からの報告・質問)

一昨日インドネシアを訪れた出張者が、スカルノハッタ空港の入管カウンター前で機械を設置する工事中だったとのこと。何か情報あれば共有いただきたい。

(企業からの回答)

空港内で到着ビザレーンの変更などあったと聞いているが当該工事については承知していない。調べてみる。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(JJC)

特段の報告事項はなし。

(JICA)

特段の報告事項はなし。

(チカラン日本人学校)

特段の報告事項はなし。

5. お知らせ

(大使館領事部長)

先ほど警備班書記官から報告のあった出会い系アプリを利用した事件だが、こうした被害が継続的に発生していることをあらためてご認識いただきたい。身に覚えがない違法薬物が関連し裁判で実刑判決を受け刑務所に収監されるという事例もある。十分ご注意ください。

次回海安協は2023年9月12日(火)開催予定。